

鈴木ヒラク SILVER MARKER—Drawing as Excavating

定価:8900円(税別) 判型:A4変形(285 x 210 mm) / 144ページ / コデックス装 / スリーブケース デザイン:須山悠里 特別協力:agnès b.



発掘としてのドローイング—10年の光の軌跡

「ドローイング」を絵と言葉の間にある線の「発掘」行為と捉え、多岐に渡る手法によってその可能性を拡張し続けている鈴木ヒラク。これまでに国内外の美術館での展覧会参加はもとより、大規模な壁画制作や、詩人／音楽家らとのパフォーマンスなど、様々な領域を横断しながら独自の世界を切り拓いてきた、活躍目覚ましいアーティストの10年間に渡るドローイングの軌跡を収めた、渾身の作品集です。

タイトルの通り、銀のマーカーとスプレーで2010年から2019年の間に描かれた平面作品や壁画から選りすぐられた200点以上の図版で構成された本書。シリーズ毎に選ばれた用紙がそれぞれ独立した小冊子となり、重厚感のあるコデックス装でまとめられ、ページをめくるとに新鮮な驚きをもたらします。シルバーインキを巧みに用いた印刷技術は、まさにシルバー(光の反射)とマーカー(印・痕跡)がページ上で光と闇を反転させるような効果を生み出し、銀河をも想起させる作品群はいくつもの表情を見せます。

考古学／文化人類学／美術の分野から寄稿された、鈴木ヒラクの発掘する線に共振するように紡がれたテキストが「描く」と「書く」の間を新しく照らし出します。



執筆:
サイモン・ケイナー(考古学者／セインズベリー日本藝術研究所総括役所長及び考古・文化遺産学センター長)、
今福龍太(文化人類学者)、藪前知子(東京都現代美術館学芸員)、アニエスベー

●本体表紙(裏)に、1冊ずつ作家による線(痕跡)が刻み込まれた特別仕様となります。



鈴木ヒラク ■1978年生まれ。アーティスト。2008年東京藝術大学大学院修了後、シドニー、サンパウロ、ロンドン、ニューヨーク、ベルリンなどの各地で滞在制作を行う。ドローイングと言語との関係性を主題に、平面・彫刻・映像・写真・パフォーマンスなどから、ドローイングの概念を拡張するような制作活動を展開している。2016年より現代ドローイングの実践と研究のためのプラットフォーム「Drawing Tube」を主宰。これまで金沢21世紀美術館(2009年、石川)、森美術館(2010年、東京)、ヴロツワフ建築美術館(2015年、ポーランド)、銀川現代美術館(2016年、中国)、パリ日本文化会館(2015年、フランス)、アーツ前橋(2017年、群馬)、MOCO Panacée(2019年、フランス)、東京都現代美術館(2019-2020年、東京)など国内外の美術館で多数の展覧会に参加。著書に『GENGA』(2010年、河出書房新社)などがある。

出版記念展「Silver Marker and Some Stones」
会期：2020年1月18日(土)―3月15日(日)
会場：アニエスベー ギャラリー プティック

グループ展「MOTアニュアル2019 Echo after Echo : 仮の声、新しい影」
会期：2019年11月16日(土)―2020年2月16日(日)
会場：東京都現代美術館

▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922

mail:info@tsubamebook.com
TEL:03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名(番線印)	新刊	HeHe	www.hehepress.com mail: info@hehepress.com
	注文数	返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通:川人	
ご担当: 様	鈴木ヒラク作品集 SILVER MARKER — Drawing as Excavating ISBN978-4-908062-30-8 C0071 定価:本体8,900円(税別)		